

情勢報告（令和7年12月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

関西・名古屋・高松の市場動向調査

～消費地に産地の声を伝えて意見を聞こう！～



市場調査の様子

11月17～18日および28日に、JA高知県れいほく園芸部は生産者2名とJA2名、普及所1名で関西・名古屋・高松の6市場へ出向き、市場動向調査と関係者との意見交換を行いました。

各市場では、生産者から生産コストの高騰や、夏期の高温による影響など産地が直面する課題について説明し、今後の販売や消費宣伝について活発な意見交換が行われました。

普及所は、品目ごとの消費動向および嶺北地域の情報発信やGAPの取り組みに関して聞き取りを行い、市場関係者から意見を貰いました。

普及所では、得られた情報を活用し、関係者ととも次年度の取り組みを検討していきます。

土佐町産業文化祭

～土佐町でのお米のさらなる生産振興に向けて～



産業文化祭の様子

11月23日に、土佐町で産業文化祭が開催され、今回初めてお米のコンテストが行われました。併せて、コンテストで最も点数の高かったお米の試食も実施しました。

普及所はコンテストや試食に向けて、事前にコンテストの内容や出品されたお米の食味分析、当日の試食方法や準備等について、助言、指導しました。

出品した生産者からは、「このようなコンテストは米作りの励みになる」という声が聞かれました。

普及所は、今後も地域の水田農業を守るよう、お米の生産振興に向けて支援していきます。

特産の碁石茶、伝統の製茶技術を次世代に継承

～大豊町碁石茶審査・目慣らし会～



審査の様子

11月27日、碁石茶製造技術保存会と大豊町碁石茶協同組合主催により、今年の碁石茶の審査および目慣らし会が開催され、地元の生産者3戸から製品茶3点の出品がありました。

普及所は、茶業試験場の職員や他大学・町関係者等とともに、外観、香り、水色、味について審査しました。

生産者から今年の製茶過程を振り返り、「毎年同じ方法で製造しているが、仕上がりは毎年異なる、今年は天日干しの時期に戻り梅雨があり、難しかった」との声が聞かれたように、製造には難しい条件でしたが、全体的に例年並の仕上がりで、品質は良い結果でした。

今後も普及所は生産者や関係機関と連携して、伝統の茶生産の振興支援に取り組んでいきます。

担い手・女性農業者の資質向上に向けて

～農業基礎講座～



基礎講座の様子

嶺北農業改良普及所では、新規就農者や女性農業者等を対象に、農業の基礎的な知識の習得を目的として、農業基礎講座を開催しています。11月27日に「病害虫防除」、12月17日に「土壌肥料」についての講座を開催し、のべ12名が参加しました。

普及所はIPMの取組や農薬を使用する際の注意点、土づくり・土壌診断の方法等を説明し、参加者からは「改めて農薬の使用時の注意点が分かって良かった」や「土壌診断を基にした土づくりの重要性が分かった」といった声がありました。

この基礎講座は農閑期となる11月～3月まで、テーマを変えて月1回開催を予定しており、今後も普及所は担い手や女性農業者の農業技術習得を支援していきます。